

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	126,207	【流動負債】	63,485
現金及び預金	62,186	買掛金	17,410
売掛金	59,064	未払金	6,095
未収入金	31	未払費用	1,579
貯蔵品	51	仮受金	66
前払費用	4,048	前受金	1,125
立替金	30	未払消費税等	5,835
未収還付法人税等	205	預り金	745
親会社債権	586	未払法人税等	17,502
【固定資産】	188,614	未払法人税外形	2,757
【有形固定資産】	1,370	親会社債務	10,367
工具器具備品	2,116		
減価償却累計額	△1,155		
一括償却資産	409	負債合計	63,485
【無形固定資産】	186,766	(純資産の部)	
のれん	107,599	【株主資本】	251,336
ソフトウェア	79,167	資本金	100,100
【投資その他資産】	477	利益剰余金	151,236
繰延税金資産	477	その他利益剰余金	151,236
		繰越利益剰余金	151,236
		純資産合計	251,336
資産合計	314,822	負債・純資産合計	314,822

損益計算書

(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
【売上高】		518,651
【売上原価】		200,941
売上総利益		317,710
【販売費及び一般管理費】		215,663
営業利益		102,046
【営業外収益】		
受取利息	0	
雑収入	314	
賞与引当金戻入	4	319
【営業外費用】		
支払利息	219	
支払賃借料	645	
雑損失	0	865
経常利益		101,500
税引前当期純利益		101,500
法人税、住民税及び事業税	37,118	
法人税等調整額	1,705	38,823
当期純利益		62,676

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

① 貯蔵品

先入先出法(貸借対照表価額は収益性の低下にもとづく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、耐用年数は以下のとおりであります。

工具器具備品 ……3年

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) その他の計算書類作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理

税抜方式により処理しております。

本計算書類中の記載金額は、表示数値未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	10,000	—	—	10,000